

一級合格のよもやま話

ベトナムから来日し見事に技能検定一級に合格
いったい何が彼らを合格へ導いたのか

関東甲信越保温保冷工業協会

NGUYỄN CẨM QUYẾT

グエン カンクエット

TRIỆU THANH LONG

チュウ タンロン

相澤 貴之

ナイガイ(株)



技能検定一級合格おめでとうございます。

本日は合格するまでの練習の話や、普段の生活などを聞かせてください。

まずは日本に来るまでの話ををお願いします。

クエットさん(以下Q)：ベトナムの学校は、小学校5年、中学校4年、高校3年、大学4年制です。私は大学で電気を学んだ後に1年ほど電気工事の仕事に就いてから、実習生送り出し機関に応募しました。最初は電気関連の仕事に就く予定でしたが、その募集が取りやめになってしまい、少し携わったことのある保温の業界に来ることになりました。

ロンさん(以下L)：私は高卒で一度軍隊に入隊しています。今は制度が変わりましたが、以前は大学進学をしない人は18~28歳の間で入隊する決まりになっていました。軍隊は3年間で任務満了となり、外国で働くと思いました。異なる文化や仕事のやり方を学び、自分のスキルを向上させたいと考えたからです。特に、国際的な環境での経験は、自分の成長に大きく役立つと感じました。

Q：最初はベトナムにあるセンターで日本語を勉強しました。でもそれだけでは日本語を全然覚えられません。その後、ナイガイの野田工場で働きながら日本語の勉強をしました。

日本に来て大変だったことは？

Q：やっぱり日本語の習得です。こればかりは自分で努力しないと身に付きません。日本語で一番苦労したのは

漢字です。最初はひらがなで日本語を覚えますが、だんだん慣れてくると漢字のある文章の方が意味を掴みやすくなりました。今はN2を持っていますが、現場で使う専門用語はまた違うので難しいです。現場関係の言葉で最初に覚えたのは「立ち入り禁止」です。あと日本の冬は寒いです。雪が凍って自転車が滑るのも困りました。ベトナムでは雪は経験した事がありません。

(※編集部注：N2とは5段階の日本語能力試験の内、新聞や雑誌の記事を読み、日常会話がスムーズにできるレベル)

日本の食べ物はいかがですか？

L：ご飯で食べられない物はありません。お寿司もワサビも大丈夫ですが、生ものを吃るのはまだちょっと抵抗があります。生卵も気になりますね。一番好きなのは焼肉です。ベトナム北部の人は辛い物が好きで、南部の人は甘い味付けが好きですね。

Q：最初は納豆とお味噌汁がダメでしたが、いまは食べられるようになりました。お味噌汁は好きになりました。特に茄子のお味噌汁が美味しいと思います。焼肉や鰻など甘辛い味のものが好きです。

L：ピーナッツを炒ったふりかけ(奥さん作)を現場にも持つて行って、お昼ご飯の白米にかけて食べます。

相澤：ピーナッツふりかけは美味しいくて何度も貰っています。皆お肉が好きですね。牛丼屋さんとか。

Q：今は寮に住んでいるので、料理が得意な人がご飯を作つて、他の人が茶碗を洗つてとかそんな感じです。

作るのはベトナム料理です。最初は日本食に慣れなかったのでベトナム食材のお店に行っていましたが、今は近くにあるスーパー「まいばすけっと」で調達しています。

お2人とも御結婚されていますね

Q：一昨年の秋に結婚しました。奥さんはベトナムで学校の先生をしています。今は特定技能1号の立場ですが、来年くらいには特定技能2号に昇格して奥さんを日本に呼びたいと思っています。今は毎晩電話しています。



とても仲の良いロンさん(左)とクエットさん(右)

異国の地に来て苦労を共にした二人ならではの結束力が垣間見えたひと時でした

L：私は同じ建築現場に入っていた他社の技能実習生と去年の3月に結婚しました。現場で彼女を見かけて「かわいいなあ」とベトナム語でつぶやいたら、まさかのベトナム人で、つぶやきが聞かれてしまいました。

同僚が間を取り持ってくれて、そこから3年付き合いました。結婚式はベトナムで行い、今は会社の近くに2人で住



んでいます。同僚には飲み会のたびに「間を取り持ってくれてありがとうございます」と言っています。

相澤：会社の寮からも遠く、現場も無い、ある町で週末にロンさんを頻繁に見かけるようになりました。実は「かわいいなあ」の彼女が住む町だったのですが、当時は付き合っている事も知らなか

かったので「何かおかしいぞ？」と噂になっていました。彼女は実習3年で一旦ベトナムに帰国していて、再度、技能実習生としてナイガイで働いてくれています。結婚前に私といつも付いてもらっている職人さんとお互い夫婦で挨拶を受けました。これはベトナムの習慣だそうです。

Q：ベトナムでは先に結婚した方が「お兄さん」の立場になります。ベトナムも少し前までは25歳くらいが結婚適齢期でしたが、今は30歳くらいに引きあがっているようです。

一級検定の合格のコツは何でしたか？

Q：実技はとにかく練習しました。5月の連休明けからほぼ毎週、日曜日にベテランの職人さんに先生になってもらい、試験まで10回くらい練習したと思います。

L：現場では板金作業はしていないので、板金の加工が難しかったですね。初めのうちは手間がかかって終わらない事が多かったです。

相澤：面倒見のいい職人さんがいて毎週末2人に付き合ってくれました。また、施工順の時間割を作ってくれたので、その時間割に沿った練習を積み重ねました。

Q：1級検定の実技時間は4時間半です。時間割通りに時間内に取り付け・加工していく練習を何回も行ったおかげで、2人とも4時間くらいで試験を終わらせる事が出来たので、後の30分は見た目をきれいに補修したり、周りの掃除をしたりする時間に当てられました。

(※編集部注：試験時間の4時間30分では作業が終わらない受検者も多く、超過時間に比例して減点が増えます)

検定時、クエットさんの試験台は仕上がりがキレイで他の受検者が見学に来ました

Q：人が集まってきたので、自分が何か施工ミスをしたのかと思いました。びっくりしましたね。以前から板金作業にも興味があったのでYouTubeで施工の仕方を見たりしていました。

相澤：クエットさんは保温でも難しい作業が得意で、板金作業も手が足りない時に手伝いに呼ばれたりするまでに上達しました。

学科の試験はいかがでしたか？

Q：学科が一番難しかったです。実技よりも難しかった。試験前に保温保冷協会でベトナム人向けの模擬試験を受けましたが、最初は48点、次は60点でした。250頁くらいのテキストを毎日勉強しました。

奥さんと一緒に暮らしたいので頑張りました。

L：問題は保温だけではなく、電気屋さんとか鳶さんとかの分野の問題もあり大変でした。模擬試験でも64点とかで、学科の試験は落ちたかなと思っていました。

(※編集部注：学科試験の合格ラインは33/50問以上正解で66点以上が必要)

普段の生活を教えてください

Q：平日帰宅するとご飯を作り、奥さんとFacebookで1時間くらいテレビ電話をします。電話しないと怒られちゃいます。来日した頃は日本語の発音の勉強を毎日していました。発音のビデオは今でも見ています。

L：家では私がベトナム料理を作ります。魚と肉が半々になるように気を配っています。週に一回くらいは外でラーメンを食べます。

相澤：ロンさんは結婚前に「太っちゃダメ♡」と言われていて、ずっと奥さんからインゲンのお弁当を持たされて



いました。

最近の現場の状況について

相澤：最近の現場書類は紙で提出ではなく、アプリで完了するようになっています。送り出し教育も、スマホで勉強して修了証が発行されて、それを見せて入場する流れになっているので、入場した人数などの管理もしやすいはず。

Q：現場では色々な国籍の人が増えました。ベトナムでは既に滞在している親せきや知り合いを頼って仲間が来日する感じです。私も10人位にナイガイを紹介しました。ナイガイ野田工場にいた時に皆さん優しくて手伝ってくれたし、分からぬことがあつたら教えてくれたのがすごく良かったです。それで紹介しようと思いました。人気のある国は人によって違うようです。

相澤：最近はインドネシアの人も増えて、ベトナム人がインドネシア人に日本語で指示を出しています。

インドネシア人はイスラム教徒が多く、ラマダン期間は日中に水も飲んではいけない決まりですが、熱中症予防のために「日本だから水は飲んでいい」という事にしてもらって、水だけは飲んでもらっています。

(※編集部注：イスラム教徒は1年内1ヶ月間ほどの「ラマダン月」に日の出～日没の間は断食する義務があります)

これからの展望について

L：保温の仕事に携わることで、多くのことを学び、貴重な経験を積むことができました。保温の仕事は好きですが、まだ先の事は分からないです。

今は現場に出てインドネシアからの実習生に仕事を教えています。来年あたり娘が欲しいなと思っていますが、日本で育てるのか、ベトナムで育てるのか、それもまだ決めていません。10年前までは子供は2人までと制限がありました。今は子供の数に制限はなくなったけれど子供2人は欲しいですね。

Q：最初に来たベトナム人として、ベトナム人の評判を上げて、後から来る人達に繋げていきたいです。これから技能検定に挑戦する特定技能者が増えてほしいですね。

相澤：意識が高くて本当にいい人達が来てくれて、当社は運が良かったと思っています。

Q：今年の10月に息子が生まれる予定で、一時帰国を考えています。母親からは「住みたいところに住んで」と言われていて、日本は暮らしやすいと思っています。来年

あたり両親を日本旅行に招待しようと考えています。

将来自分で会社を立ち上げることは考えていません。ロンさんが会社を立ち上げたら入社しようかな。

L：現場でチームとの連携やコミュニケーションの大切さも学びました。忙しい時や難しい作業があっても、協力し合うことで

乗り越えられるということを実感しました。

この仕事を通じて、責任感や忍耐力が養われ、今後の仕事や生活においても役立てていきたいと思います。



せっかくなので手書きの一言とサインを頂けますか

Q,L：えー！？(しばらく悩む)

MỌI NGƯỜI ĐỀU MẠNH KHỎE
みんなで元気
NGUYỄN CẨM QUYẾT

Thích Có Con gái
娘が欲しい
TRIỆU THANH LONG

貴重なお話をありがとうございました。これからも保温保冷の業界でご活躍されることを期待しています

Q,L：Xin Cảm ơn(ありがとうございました)

